

令和5年度 奈良県立法隆寺国際高等学校 学校評価計画表

年度	令和5年度(中期計画2年目)
本校の使命(スクール・ミッション)	県立高等学校唯一のユネスコスクールとして、自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成
年度重点目標	①学習意欲を高め、自ら正しく判断・行動し、心身ともにたくましい生徒を育成する。 ②規範意識の向上と基本的な学習習慣の確立を目指す生徒を育成する。 ③お互いを認め合い、人権を大切にする生徒を育成する。

1 スクール・ポリシーの内容

入学意欲の向上	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、生涯学習につなげる生徒 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジしようとする生徒 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献しようとする生徒
教育方針(スクール・ポリシー)	○基本方針 1 すべての教育活動における「基礎・基本」の徹底を図り、社会生活を営む上で必要な「知識」を身に付け、進路実現に必要な「学力」を管理し、「自分の力で生き、社会を支える力」をもった生徒の育成を行います。 2 「基礎・基本」の徹底のために、各教科・科目の「ねらい」を明確化し、基礎となるもの及び基本となるものを明らかにして、「学力」の向上を図ります。 3 各教科・科目の連携を図り、組織的・系統的な学習を行うとともに、学習内容や教材の精選に努め、指導方法の工夫を行い、効果的な学習指導を展開します。 4 学習環境を整備し、学習規律の確立に努めるとともに、計画的な学習習慣が身に付くよう生活面の指導充実を図ります。 ○実現のための教育 1 すべての学科において、ICTを活用した学習の充実に向け、生徒の個性に適した学習指導の展開を図ります。 2 普通科においては、第2学年から生徒の進路希望に応じ、文型・理型の2類型と選択科目を設定します。 3 歴史文化科では、「教育課程特例校」として体験学習や臨地学習も取り入れた特色ある専門科目を設定します。 4 総合芸術科では、異文化理解を深め、世界に活躍できるグローバルの向上を目指す特色ある専門科目を設定します。 5 各学科の特色を生かし、県立高校唯一のユネスコスクールとしての取組を進めます。 6 学校行事や課外活動、ボランティア活動などを通して、主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養します。
育成を目指す資質・能力に関する方針(グローバル・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、生涯学習につなげることができる。 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジできる。 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献できる。

2 奈良県教育課程基本計画(奈良県の学び推進プラン)が示すテーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和5年度末の目標値等(C)	令和5年度末の状況(D)	自己評価(E)	学校関係者評価(F)	改善方策(案)
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体力テストA判定生徒の割合15%以上	新体力テストA判定生徒の割合12%以上				
	望ましい運動習慣の確立	運動・スポーツを週3日以上実施する生徒の割合70%以上	運動・スポーツを週3日以上実施する生徒の割合70%以上				
	道徳教育の充実	自他を尊重し、多様性を受け入れられる生徒の割合100%	自他を尊重し、多様性を受け入れられる生徒の割合100%				
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的に深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度80%以上	生徒の授業満足度80%以上				
	基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	3年次、学習到達ゾーン(GTZ)C2以上の割合60%以上	3年次、学習到達ゾーン(GTZ)C2以上の割合55%以上				
	学習意欲の向上	授業時間外ICTを活用した学習時間平均、週2時間以上の生徒の割合を80%以上	授業時間外ICTを活用した学習時間平均、週2時間以上の生徒の割合60%以上				
	学校における働き方改革	学校内の課題の共有や業務の適正化等、働き方改革を推進する場の設定を各学期1回の実施率100%	学校内の課題の共有や業務の適正化等、働き方改革を推進する場の設定を上下期各1回の実施率100%				
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ(アガドミクインターンシップ等を含む)参加生徒の割合60%以上	インターンシップ(アガドミクインターンシップ等を含む)参加生徒の割合55%以上				
	キャリア教育の推進	3年次、自分の将来の働いている姿を思い描ける生徒の割合70%以上	3年次、自分の将来の働いている姿を思い描ける生徒の割合78%以上				
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	地域活動(清掃活動等)に参加する生徒の割合50%以上	地域活動(清掃活動等)に参加する生徒の割合50%以上				
	郷土の伝統・文化、歴史等に関する学習の推進	郷土の伝統・文化、歴史等に興味をもつ生徒の割合60%以上	郷土の伝統・文化、歴史等に興味をもつ生徒の割合50%以上				
	グローバルマインドの育成や外国語教育の推進	異なる文化的背景をもつ仲間と情報交換し、課題解決に向けて協働できる生徒の割合60%以上	異なる文化的背景をもつ仲間と情報交換し、課題解決に向けて協働できる生徒の割合55%以上				
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人としての営みの中で必要な人権感覚・知識の涵養	生活の中で差別に気づき、自分の問題として捉えることができる生徒の割合100%	生活の中で差別に気づき、自分の問題として捉えることができる生徒の割合100%				
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	いじめについて相談できる人がいる生徒の割合100%	いじめについて相談できる人がいる生徒の割合100%				
	帰国生徒等一人一人に応じた日本語教育の実施	3年次、日本語能力試験(ALPT)N1取得率70%以上	3年次、日本語能力試験(ALPT)N1取得率70%以上				
	特別支援教育の推進	個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成率100%	個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成率100%				

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--